School★Shooters

慧鏤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
Ｓｃｈｏｏｌ★Ｓｈｏｏｔｅｒｓ

【Ｎコード】
Ｎ５７７４Ｖ

【作者名】
慧鏤

【あらすじ】
中学生から始まる戦闘の授業。皆はなぜ戦闘方法が教えられるか知らない。主人公の佐藤拓海は今日から高校生。入学式の後レベル調査がありＥ～ＳＳランクにランク付けされる。拓海は何ランクなるのだろうか…

入学

中学生から始まる戦闘授業

高校生になるとほとんどが戦闘授業。
戦闘授業は銃や剣を使った戦闘方法や戦闘に役立つことを教えている。
皆はなぜ戦闘方法教えられているかは知らない。

自己紹介が遅れたけど俺の名前は佐藤拓海（さとうたくみ）。今日から高校生。入学式のあと全員どれくらいのレベルか調べられる。だから愛用の銃と剣を持ってきた。
入学式が終わり、レベル調査が始まった。
E～SSの7段階にランク付けされる。SSランクになれる人はほとんどいない。そうこう考えてる間に俺の番が来た。

最初は銃で的を撃つことだ。銃を握ると急に手が震えてきた。的が定まらない。俺は的を外してしまった。残念だと思ったが最後の調査を頑張ることにした、「Eランクにはならない、大丈夫だ」と自分に言い聞かせながら。

最後は剣でロボットと勝負することだ。見た目はすごく弱そうだった。油断してしまった。一瞬で勝負がついた。俺の負けだ。
その後先生がある紙を渡してきた。多分ランクが書いてあるのだろう。俺は唾ゴクりとのんだ。おそるおそる書いてあるのを見た。SSランクと書いていた。自分の目を疑った。目をこすってもう一度見ると、やはりSSランクと書いていた。嬉しかった。嬉しさのあまり叫ぼうと思った瞬間
「なんでEランクなんだ～」と叫び声が聞こえた。周りの皆はその

人を見た。すらと俺のところに先生が来た。
「ごめん、間違えた。君のがこっちだね」
さっき叫んだ人の紙を渡された。一瞬静かになったとたん笑い声でいっぱいになった。
「あの人、Ｅランクなんだ～。かわいそ～」
先生のミスで俺は一瞬で笑い者になった。ＳＳランクになった夢が覚めた。俺は全速力で走り学校を出た。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n5774v/

Ｓｃｈｏｏｌ★Ｓｈｏｏｔｅｒｓ

2011年11月15日20時52分発行